



まつかぜ

発行者
平和学園小学校同窓会
茅ヶ崎市富士見町5-2

発行日
平成22(2010)年9月25日

編集・印刷
サイイン印刷

題 字
学園長 中山 洋 司

同窓会のみなさま、こんにちは

平和学園小学校同窓会長 倉澤 条太

一昨年のリーマン金融危機からの世相が引き続いて、今春も母校では入学者が定員を割り、ややさびしいことですが、同窓会は「平和学園」と「平和学園小学校」を盛り立て、ひいては「平和学園小学校同窓会」を盛り立てるべく、活動しています。昨年の活動の報告とこれからの計画をお知らせします。みなさまそれぞれができる形でのご協力をお願いいたします。

維持会費は一口1,000円の形をご支持いただき、多数の厚志をお寄せいただきました。今年度もどうぞよろしく願いたします。

会員相互の親睦を図るとともに、親睦を通じて「平和学園」を広く知っていただく活動の大きな柱となっている「小学校バザー」への取り組みが輪を拡げています。昨年は「内藤行・創作陶器」、「竹内剛・アクセサリー」、「市村図書・教育玩具」、「湘南ファッション・SPORTIFF」、「岡正司・野菜朝市」の出店で多くの来場者を迎え、売上も伸びました。今年も11月3日に行なわれます。出店希望の方は今からでも間に合いますから、ぜひお申し出ください。

また、バザーの日を同窓会の「ホーム・カミング・デー」としてありますが、今年は同窓生のバンド“ROUTE 134”のライブ・コンサートを企画しました。ジャズ、ポップス、カ

ントリー、フォーク、ラテン等々幅広いレパートリーを持つ“ROUTE 134”は中島豊茂さん(昭和29年卒)を中心とするトリオで、ライブ・ハウスに定期的に出演するほか、様々なイベントに参加している年季の入ったグループです。バザーを楽しんだあと、ぜひライブ・コンサートで一緒に歌いましょう。多数のご来場をお待ちしております。そして、「来年は自分も…」と思われた方、どしどし手を挙げてください。

昨年からはじめた奇数月の“呑み会”は回を重ねるうちに、「まつかぜ会」と名前が付きまして。毎回茅ヶ崎・東海岸のSPORTIFF CAFÉに同窓生が顔を見せてくださって、仕事柄の専門的な話題、趣味の話題など、目的を決めないおしゃべりを楽しんでいます。原則として、奇数月の第3木曜日午後6時半ごろから三々五々集まっています。ぜひのぞいてみてください。(次回は11月11日)

同窓会の年間活動を具体化しているのは、代表世話人会です。活動を拡げたり、活性化するのにともなって、人手が足りません。アイデアはあっても実現が難しい面もたくさんあります。少しでも協力いただけるよう、各期のクラス会などでも話し合っ、代表世話人会に参加してください。

今年度から来年度にかけて校友会主催のイベントが三つ企画されています。校友会は平和学園の各同窓会の連合組織なので、イベントごとに小学校同窓会も協力しています。イベントにお出かけいただくことはもちろんですが、イベント開催のお手伝いに興味を持たれた方は申し出てください。大歓迎です。

集されています。

2010年4月に迎えた1年生は19人、全校児童140人となり、児童数の減少傾向が続いています。平和学園小学校の認知度を高め、本校の教育に共鳴し入学を希望して下さる方を増やすべく、近隣の幼稚園や保育園、教会、商店、また在校生・卒業生などご関係のみなさまにポスターの掲示やパンフレットの紹介をお願いしているところです。2011年度の新入生(現年長児)、あるいは転入を検討されている小学生がお近くにいらっしゃいましたら、平和学園小学校をご案内くださいますようお願いいたします。

さて、平和学園小学校では創立70周年にむけて新たな学校の歩みを創りあげていきたいと考え、新学習指導要領が2011年度から本格実施されるのを前に、本校のめざすべき方向、願う子ども像を検討してきました。そして、建学の精神に謳われている「まことの人」をこれからの時代を担い、豊かに生きていく子どもの姿「HEIWAの子」ととらえ、教職員一丸となって取り組みを進めることとなりました。読書活動や「ことばの力」を育てる学習、新設されたPC教室(1人1台の小学校専用教室!)を活用した卒業論文の制作、幼稚園・中学校との連携、友だちとの交わりを深め自己肯定感を育む「遊び」の重視など、多様で創造的な教育活動を展開していきます。どうぞご期待ください。概要は小学校ホームページに紹介してあります。

今年度のバザーは例年どおり11月3日(水・祝)に、また隔年で実施している学芸会は10月23日(土)におこなう予定です。卒業生のみなさまのご来校、お待ちしております。お目にかかれるのを楽しみにしています。

平和学園小学校の今

平和学園小学校校長 岡崎 一実

平和学園小学校卒業生のみなさま、こんにちは。いつもお祈りのうちに母校をおぼえてくださり、感謝いたします。

2009年度は新型インフルエンザにふりまわされた1年でした。全国的にはゴールデンウィーク明けから感染が広がり混乱が続いていましたが、1学期の自然教室、修学旅行は影響を受けることなく実施することができました。しかし、2学期も半ば、11月3日のバザー直前になって欠席者が一気に増え、低学年の学級閉鎖、そして4日間の学校閉鎖を余儀なくされてしまいました。それ以後は幸いなことに感染は拡大しておらず、季節性インフルエンザも例年ほどの広がりは見せませんでした。次の流行がいつやってくるに備えて万全の態勢を整え、日々を過ごしています。

そんな1年の締めくくり、第93回卒業式が2010年3月13日(土)におこなわれ、26人の子どもたちが学び舎を巣立っていきました。式には同窓会長の倉澤条太さんをご出席くださり、同窓会からの記念品として鳩のマークと個人名の入った皮のペンケースが全員に贈られました。卒業生の進路はアレセイア中学12人、他私学8人、公立中6人で、アレセイアへの内部進学者が半数近くとなりました。一方で、一定数の子が地元公立中学校を選んでいるのがここ数年の特徴です。なお、卒業式で披露された「卒業生のことば(答辞)」を掲載した学校だよりは学校ブログ「平和の窓+」で読むことができます。また、学園各部の卒園、卒業式については学園広報51号にも特

教師としての原点

大津雄史

平和学園小学校同窓会の役員の方からお誘いを受け、昨年11月26日に茅ヶ崎の「スポーティブ」で開かれた、同窓会の皆様の集まりに出席させていただきました。

当日は、倉澤会長、平和学園理事長山口洋一郎様始め、多くの卒業生の方々が出席されており、ご丁寧なもてなしを受け、とても楽しいひと時を過ごさせていただきました。

卒業生の皆様が、それぞれに、立派な社会人として活躍されておられるお姿に接し、平和学園で、その基礎教育の一端を担った者として、とても誇らしく思うことでした。

私は昭和36年4月から50年3月までの14年間、平和学園小学校の教員としてお世話になりました。初めて平和学園を訪れた日の印象を、今でもはっきりと覚えています。周りには、塀もなく、松とニセアカシアが生え茂る砂地の小高い丘に、木造平屋の小さな教室が点在している、まるで夢の国の学校のような風景でした。敷地内に足を踏み入れ、歩いていると、麦わら帽子をかぶって草取りをされているご老人がいらっしゃいました。私は、「校長先生のお部屋は、どちらでしょうか。」とお尋ねしました。ところが、「はい、校長は私です。」と全く予期していなかったご返事をいただき、私は慌てました。

その後、8年間に亘り、大塚秀雄校長先生から薫陶を受けることになる、初日の出来事でした。

敬虔な信仰をお持ちの大塚先生からは、日々、多くのことを学びました。一度、何人かの先生方と真鶴のご自宅に伺わせていただき、楽しいお話を伺ったことを覚えています。

初代園長の村島帰之先生には、ご自宅の病床に伺い、お話をさせていただいたことがありました。駆け出しの私に、平和学園の教育に、若い力で、しっかり取り組むようと、励まして下さったお言葉が、今でも脳裏に焼きついています。

私が赴任当初、お世話になった先生方は、横山哲夫、真能敦子、高垣清子、川島則子、佐々木圭子、五十嵐礼子、松本栄二、三橋富子、福田薫、矢部寿子の10名の先生方でした。教務主任をされていた横山先生は、新米教師の私に、種々、優しく指導して下さいました。当時、学園全体の宗教主任をされていた、岡崎晃先生には、公私共にお世話になりました。また、いろいろな職業のジャンルに携っておられた多くの父母の皆様には、絶大なるご協力、ご支援をいただきました。

翌年からは、次々と新しい先生方も加わり、中・高の先生方とも交流しながら、日夜、教育活動に取り組みました。

その後の桐蔭学園と合わせて、45年間の教職生活を振り返る時、教師としての原点が平和学園にあったことを改めて思い、当時の先生方、ご父母、教え子の皆様方に、深く感謝の意を表する次第です。

校友会主催のイベント紹介

ご紹介する3つのイベントはいずれも以下のかたちで行なわれます。

主催：平和学園・アレセア湘南校友会

後援：学校法人平和学園

協賛：平和学園・アレセア湘南中学校同窓会

平和学園小学校同窓会

アレセア湘南保護者会

平和学園小学校PTA

平和学園幼稚園PTA

アレセア湘南後援会

* * * * *

各イベントの問い合わせ先：校友会事務局 (090-5429-5741)

第25回 クリスマス・チャリティー パイプオルガンコンサート

日時：2010年12月11日(土) 午後2時より(開場1時半)

会場：平和学園 賀川村島記念講堂

入場無料

出演：後藤香織(オルガン) 岩本久美(ソプラノ)

木下麻里(ヴァイオリン) 飯塚美奈(オルガン)

楽曲を料理に見立て、第1部は「シェフKAORIのORGANフルコース」、第2部は「4人のシェフによるEnsemble：世界の音楽料理」でパイプオルガンとのアンサンブルを楽しんでいただく、これまでとは味付けの違うコンサートです。多数のご来場をお待ちしております。

* * * * *

チャリティーへのご協力を!!

なお昨年寄せられた厚志は白十字会林間学校に寄贈されました。

平安文化への誘い ～十二単・東帯の世界～

— 平安装束の着装講習会 —

日時：2011年1月29日(土) 午後2時より

会場：平和学園 賀川村島記念講堂

入場無料

講師：衣紋方(えもんかた) 荘司礼子

国際文化理容美容専門学校

渋谷校校長

衣紋道高倉流東京道場会頭

平安貴族の装束の着装と解説。受講者モデルの体験着装もあります。貴重な装束を目の当たりにできる、まねな講習会です。

大評判の平和学園ジャズコンサート

JAZZ LIVE IN CHIGASAKI 2011

第2弾

出演：蘭田憲一とデキシーキングス

日時：2011年5月21日(土) 午後2時より

会場：平和学園 賀川村島記念講堂

* * * * *

チケットは2011年2月から発売予定



〈谷口英治 セクステット+野村佳乃子〉

“ジャズ・ライブ・コンサート・イン・茅ヶ崎” 顛末記

昨年春の校友会幹事に同窓生の堀剛さん（昭和31年卒）から、今をときめくジャズ・クラリネットの第1人者谷口英治さん率いる“谷口英治セクステット”にヴォーカルの野村佳乃子さんをフィーチャーしたライブ・コンサートを平和学園でやりませんか、というお話がもたらされました。かねてから平和学園・アレシア湘南校友会（小中高同窓会の連合組織）では文化的な催しで平和学園を近隣にアピールしたいという思いがあって、役員が心当たりを模索していたのです。

毎年12月恒例の“クリスマス・チャリティー・パイプオルガン・コンサート”をこの2年間校友会が主催してきましたが、有料のコンサートは初めてのことで、役員も音楽には素人ばかり。どんな準備をすればいいのかというところからスタートしました。

最初の申し入れでは、2009年9月26日開催が提示されましたが、準備期間の不足もさることながら、会場となる賀川村島記念講堂がすでにふさがっていました。学園側のスケジュールでは、2学期は生徒募集関係の行事が目白押しで、講堂の余裕もないし、学園側にもコンサートを楽しむ雰囲気ができにくいということでした。3学期は入試や卒業行事があるので、余裕のある1学期の2010年5月15日に開催ということになりました。

次に会場の音響設備を専門家の友人に見てもらったところ、賀川村島記念講堂の音響設備は会議仕様で、ジャズ・コンサートのためにはマイクからスピーカーにいたるまで、全て持ち込まなくてはならないということでした。ほかの音響専門の会社の見積では20万円ということでしたが、友達料金で格安でお願いできることになりました。

イベントの専門家の意見を聞きながら、入場料を2,000円

（学園生徒は1,000円）に決定し、チラシのデザインと印刷は乾校友会長（昭和30年卒）が仕事柄を生かして担当、販売はチケット印刷との兼ね合いもあって、ネット販売の「イー・プラス」を利用することとし、合わせて書店での店頭販売、学園事務局での取り扱いを決めました。あとは各同窓会の役員が手分けして販売することになりました。

チラシが1月末に出来上がり、2月からチケット販売を始めました。ライブ・ハウスへのチラシの積み置き、コンサートでのチラシの配布などを各所にお願ひしました。出だしはなかなか売上が伸びず、ハラハラしていました。席の半数が売れなければ赤字です。折角演奏してくださるミュージシャンもがっかりされることでしょう。4月から当日まではいっそう力を入れてチラシを配ったせいか、売上も徐々に伸びました。

当日は五月晴れのすばらしい日になりました。「当日券はありますか?」、「平和学園にはどうやって行ったらいいですか?」と電話が鳴りっぱなしです。お客様が続々入場されます。当日券も売行き好調のようです。ご招待した白十字会林間学校の生徒さんたちも晴れやかな顔です。

さあ、演奏が始まりました。客席も7割方埋まっているようです。

* * * * *

演奏が終わってお客様が帰られます。「すばらしかった。」「またやってください。」等々の感想が聞かれました。また後日、コンサートを知らなかったという方から、「次はいつですか?必ず行きます。知らせてください。」という電話もありました。

初めてのことで緊張しながら準備しましたが、関係者から「成功!」と評価していただき、継続的な行事として定着させられるかが、次の課題となりました。

だけになったかという話をしてみます。私の記憶に残る衝撃の音を、生まれた時から時系列で追いかけてみました。私は親父が満州鉄道に勤務しておりましたので大連で生まれました。最初の衝撃は母親の背中中で聞いた“ピシ、ピシ”という音です。大きくなってから母親に訊くと、「そんな事覚えているの!」でしたが、警官が泥棒を捕まえ、裸にして犯人のバンドで叩いている、それを皆が輪になって見ていたのだそうです。次は“ドタ、ドタ”です。大連で皆で夜、食事をしていた時、ロシア兵が戸を壊して土足で入って来ました。そして私が食べているご飯のお茶碗や皿を貴重品だという理由で持って行ってしまいました。その取る素速さも覚えています。その次はリーンです。小学校の最初の頃は授業の開始と終了を知らせるのは事務員の方の鐘でしたが、横山先生が電気式ベルを付けてくれました。なにか新鮮な感じがしました。

私の演奏の経験を振り返ると、まず、伯母がピアノの先生をしていたので、小学3年生のころ習いましたが、バイエルの16番の両手の処で止めてしまいました。片手でも大変なのに、両指で別々に引くなんて、なんて野蛮なんだろうと思ったのです。授業では、講堂での五十嵐先生の高い声が記憶に残っています。厳しい先生でした。よくピアノの横で1人ずつ歌わされました。中学では音楽の先生が、夏休みの前に「君は理論が良いので、小太鼓の特訓を10日ほどやるから学校にこないか。」というので始めましたが、3日で先生と合意の上で止めてしまいました。高校では、コールユープンゲンを芸大出の先生に教わりましたが、「下手なやつは、授業態度位は良くしろ。」等と言われ、成績のいい人やステレオレコードを寄付した人はさん付けで後の人は呼び捨てでした。また大学時代はハワイアンのスチールギターをやりましたが、ある日友達の家で夜中までやっていたら、友人のお父さんが寝巻きで出てきて「もうやめろ。」と言われた上、「ところで先ほどから聞いていると、どうもアンプが悪い。」などと言ひ出され、中まで開けて大変なことになってしまいました。

そんな訳で、すべて演奏の方は才能のある方にお任せし、楽しむ方にまわっております。

私の音と音楽

—なぜ音楽を聴くだけにしたのか—

堀 剛（昭和31年卒）

私が是非ということで企画を持ち込んだ、校友会主催“ジャズライブコンサート・イン・茅ヶ崎”が5月15日に盛況の内に終わり、理事長、学園長、校友会会長をはじめ役員の方々また各方面の方々にお礼申し上げます。

この度のライブのリーダー、クラリネット奏者の谷口英治君は、私の早稲田の後輩になります。学生時代から活躍しています。東京、横浜を始め九州まで毎年コンサートツアーをしています。洗足学園大学の講師でもあって、知的な方です。他のメンバーも大活躍している方々です。また歌手の野村佳乃子さんとは、以前六本木にあったバードランドでお会いしました。クリスタルボイスとか天使の歌声とか評論家の方が好評しております。あくまでも自然に歌うのが本人の目標であり、1930年代のジャズ歌手の様です。校友会のJAZZ LIVEに来られなかった方は、ぜひ谷口さんと野村さんのCD（MY ROMANCE：企画SSJ）をお聴きください。このCDの企画をされたSSJの小針さんは、驚いたことにお母様が平和学園から200m位のところに住まわられていて、ライブ当日、車椅子を押してお母様と一緒に来てくださいました。本当に何か縁を感じます。谷口さんと野村さんを小堀さんが結びつけてCDを出し、音楽の大好きな小針さんのお母様にも聞いていただけたのは、こういう会があって初めて結びついた様に思います。

なんと私はライブ当日なぜか、3台の戦車が学園の周りであった昔のことを思い出しました。米軍が攻めてくるとの事で配備されたのだそうです。まだそのころは、学園の中にも防毒マスクがころがっていました。「今日はアメリカのジャズが学園に上陸してくるけどどうまくいけばいいな。」と思いました。なにしろどの位来場されるかわかりませんでしたから。

この機会に音楽好きの私がいかに演奏者になれないで、聴く

職員動静

- 高木 優子先生 2009年7月から産休・育休、7月30日長女ご出産。
- 安達百合子先生 2009年9月～、常勤講師。
- 臼屋 幸先生 2010年4月、幼稚園へ。
- 楠山 玲先生 2010年4月～、非常勤講師。

維持会費納入のお願い

維持会費は同封の振込用紙を利用して納入して下さるようお願いいたします。

1口1,000円で、何口でも結構です。

小学校バザー

2010年11月3日(水・祝) 11時～14時
同窓会メンバーも多数出店します

同時に

ホーム・カミング・デー企画
同窓生バンド ライブ

ROUTE 134 (ルート・サーティーン・フォー)

中島豊茂(昭和29年卒)・菱倉勝人(昭和29年卒)・矢崎潔
平和学園小学校音楽室

2011年度 児童募集

第1回 小学校入学選考

◆願書受付 / 9月25日(土)～10月1日(金)
(日曜を除く)

◆募集人員 / 第1学年 27名

◆選考日 / 10月19日(火)

第2回 小学校入学選考

◆願書受付 / 10月20日(水)～11月5日(金)
(土・日・祝日を除く)

◆募集人員 / 第1学年 若干名

◆選考日 / 11月16日(火)

2010年度 転入学児童募集

◆願書受付 / 11月26日(金) 締切

◆募集人員 / 欠員のある学年 男女若干名
(お問い合わせください)

◆選考日 / 12月9日(木)

※学芸会 10月23日(土) ※バザー 11月3日(火)

※学校見学・進学相談などは随時承っております。電話での予約をお願いいたします。 TEL 0467-87-1662

2009年度会計報告 (単位:円)

収入の部

2008年度維持会費	3,000
2009年度維持会費	351,000
新卒者入会金(26名)	260,000
バザー売上	12,790
バザー出店者協力金	332,100
懇親会会費	18,000
預金利息	4,301
前期繰越残高	3,155,556
合計	4,136,747

支出の部

2008年度維持会費振込手数料	200
2009年度維持会費振込手数料	11,880
バザー収益より寄附(PTAへ)	250,000
「まつかぜ」8号印刷費	71,400
「まつかぜ」8号郵送費	95,480
卒業記念品	64,887
通信費	6,190
印刷費	37,000
会議活動費	12,039
親睦活動費	36,000
学園広報印刷費	64,045
賀川先生献身100年事業献金	30,000
校友会室備品・清掃分担金	31,987
消耗品雑費	8,901
次期繰越残高	3,416,738
合計	4,136,747

2008年度会計報告の訂正

昨年発行「まつかぜ・新8号」掲載の2008年度会計報告の収入の部[2007年度維持会費]が「1,000円」となっておりますところを、「2,000円」に訂正いたします。

訂正とお詫び

昨年号「まつかぜ・新8号」掲載「同窓生を訪ねて」:岩倉瑞江さんへのインタビュー記事の末尾が欠けておりました。不手際をお詫びするとともに、改めて【インタビューを終えて】部分を全文掲載いたします。

【インタビューを終えて】

長時間のインタビューの一部しかお届けできないのが残念です。「幼い時の裕福で優雅な生活と、両親の離婚と父の倒産による不遇な時代や自分の起業時の借金による苦しい生活の両方を経験できたことが幸せ。」とおっしゃっていたのが、印象的でした。「平和学園在学中は引っ込み思案でのんびりしていて、お点も良くなかったけれど、それを咎められることもなく見守ってもらえたことがありがたかった。」というお話に、管理職を置かない経営姿勢を感じました。

編集後記

平和学園の各同窓会の連合組織・校友会のイベント企画が次々と出てきました。各機会にぜひ母校をお訪ねください。「まつかぜ」は素人がボランティアで制作しています。いっしょに携わって下さる方を待っています。また感想、ご意見もお寄せください。